

このたびは、アンプ内蔵モニタースピーカーをお買い上げいただき、誠にありがとうございました。

安全上のご注意

必ずお守りください

- ご使用の前に必ず、この取扱説明書の「安全上のご注意」と取扱方法に関する説明をよくお読みの上、正しくお使いください。
- お読みになったあとは、必ず保存してください。

安全に正しくお使いいただくために

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

絵表示の例



⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な注意内容(図の場合は分解禁止)が描かれています。



●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。



△記号は注意(危険・警告)を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容が描かれています。



警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



プラグをコンセントから抜く

異常が起きたときは、ただちに使用をやめる

煙が出ている、においや音がある、水や異物が入った、落として破損したなど、火災・感電の原因となります。ただちに電源を切り、販売店などにご連絡ください。



分解／改造はしない

火災・感電の原因となります。修理や点検は、販売店などにご依頼ください。



異物を入れない／濡らさない

水や金属が内部に入ると、火災・感電の原因となります。ただちに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店などにご連絡ください。

(雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。)



電源コードを傷つけない

電源コードの上に重いものをのせたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりすると、火災・感電の原因となります。電源コードが傷んだら(芯線の露出、断線)販売店などに交換をご依頼ください。



表示された電源電圧以外の電圧で使用しない

火災・感電の原因となります。



屋外で使用中に雷が鳴り出したら、使用しない

落雷の原因となります。使用を中止し、機器から離れてください。



配線は正しくおこなう

ショートや、誤配線により火災の原因となります。



この機器の上にもろそく等の炎が発生しているものを置かない

火災の原因となります。



電源プラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因となります。



電源プラグのほこりなどは定期的に取り除く

プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因となります。定期的に電源プラグを抜き、乾いた布などで拭きとってください。



指定以外のACアダプターを使わない

火災やけがの原因となることがあります。



注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。



ACアダプターが宙に浮かないようにする

プラグが抜けたり、コードやプラグを痛めたりして、故障の原因となることがあります。



湿気やほこりの多い場所、油煙や湯気が当たるような場所に置かない

火災・感電の原因となることがあります。



不安定な場所に置かない

落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。



電源コードを熱器具に近づけない

コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。



注意 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。



異常に温度が高くなる場所に放置しない

窓を閉めきった自動車の中や直射日光が当たる場所など異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。キャビネットや部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。



重量に耐える場所に設置をする

落下や転倒などでけがや破損の原因となります。



長期間使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く

火災の原因となることがあります。



通行などの障害となる場所には設置しない

引っかかったり、当たったりなどしてけがの原因となることがあります。



配線は、アンプの電源を切っておこなう

感電の原因となることがあります。



お手入れの際は電源プラグをコンセントから抜く

感電の原因となることがあります。



電源を入れる前には音量を最小にする

突然大きな音がでて聴力障害などの原因となることがあります。



長時間音が歪んだ状態で使わない

スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。



電源プラグ部に水がかかる場所で使用しない、濡れた手で電源プラグを抜き差ししない

感電の原因となります。



電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない

コードが傷つき、火災、感電の原因となります。必ずプラグを持って抜いてください。



移動するときは、コード類を傷つけない

移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コードを外してから行ってください。コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。



この機器に乗ったり足場代わりにしない

特にお子様にはご注意ください。倒れたり、こわれたりして、けがの原因となることがあります。



樹脂加工部に対してベンジンやシンナーなどの溶剤を使用して清掃しない、また、タバコなどの火を近づけない

部品変形により故障して、火災などの原因となることがあります。



機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。



1年に1回程度は内部の掃除を工事店などにご相談ください。内部にほこりがたまった状態で、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨時の前に行くと、より効果的です。なお、掃除費用については工事店などにご相談ください。

設置・使用上のご注意

- 本機の上面、側面、及び後面に10cm以上の空間を確保して使用してください。
 - 使用中に強い衝撃や振動を加えないでください。音切れや故障の原因となることがあります。
 - 本機を雑音発生の原因になる機器※の近くには設置しないでください。
- ※高周波機器(乾燥機,医療機器など)、電気溶接機、ブラッシングモーター、自動車の通る道、携帯電話機、デジタル機器(コンピューター、電子楽器など)、空気清浄器など。

電源について

- 電源スイッチを「切」にただけでは、電源は遮断されません。電源を遮断するときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。(機器は容易に遮断の操作ができるようコンセントの近くに設置してください)

免責事項について

当社は下記の事項に関して一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

- ①お客さまの故意、過失、誤用、その他異常な条件下での使用による損害または本製品の破損など
- ②本製品に直接または間接に関連して生じた、偶発的、特殊的、または結果的損害・被害
- ③本製品のお客さまご自身による修理、分解または改造が行なわれた場合、それに起因するかどうかを問わず、発生した一切の故障または不具合により生じた損害
- ④本製品の故障・不具合を含む何らかの理由または原因により、使用ができないことなどによる不便・損害・被害
- ⑤第三者の機器と組み合わせたシステムによる不具合、あるいはその結果被る不便・損害・被害

本機を長期間お使いの場合のお願い

本機を安全に使用していただくために、販売店または工事業者による定期的な点検をおすすめします。

外観上は異常がなくても、使用条件によっては部品が著しく劣化している可能性があります。故障したり、事故の原因となることがあります。下記①～④の様な状態ではないか日常的に確認してください。もしその様な状態を発見されましたら直ちに電源を切り(使用中止)、販売店または工事業者に点検や撤去をご依頼ください。

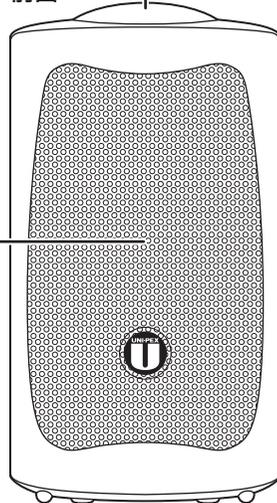
特に10年を超えて使用されている場合は、定期点検の回数を増やしていただくとともに買い換えの検討をお願いします。

- ①煙が出たり、こげ臭いにおいや異常な音がしている。
- ②接続コード・コネクタが異常に熱い。または亀裂や傷がある。
- ③本機に触れるとビリビリと電気を感じる。
- ④電源を入れても音が出ない、その他の異常・故障がある。

各部の名称と説明

ハンドル

前面



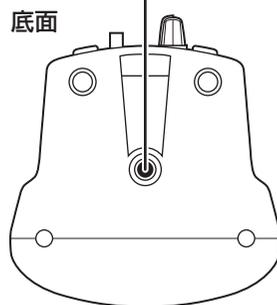
スピーカー部

スタンド取付穴

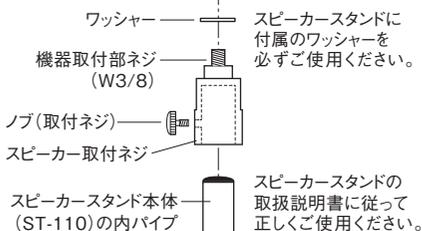
(取付ねじ寸法 W3/8)

別売のスピーカースタンド(ST-110)に取り付けて使用することができます。

底面



スタンド取付方法



警告

- 風の強い日にスタンドに取り付けて使用しない
・転倒などの事故の原因となります。
- ACアダプターが宙に浮かないようにする
・プラグが抜けたり、コードやプラグを痛めたりして、故障の原因となることがあります。
- 通行などの障害となる場所には設置しない
・当たったりなどして、けがや破損の原因となる事があります。
- 配線する際は、コードの引き回しに注意する
・引っかかったりなどして、けがや破損の原因となる事があります。

各部の名称と説明

電源表示灯

電源が入っていると赤く点灯(ON)します。電源が切れている状態では消灯(OFF)しています。

ACアダプターを接続したとき、一度点灯した後、消灯しますが故障ではありません。

MIC IN

マイク入力ジャック

(-44dBV 不平衡)
2極大型単頭ジャック

マイクロホンを接続してください。

ご注意… 平衡型マイクは使用できません。

AUX IN

ライン入力ジャック

(-12dBV 不平衡)
Φ3.5mmステレオミニジャック

CDプレーヤー、携帯音楽プレーヤー等を接続してください。マイクロホンとミキシング放送が行えます。(モノラル出力になります。)

(Φ3.5mmステレオミニプラグ↔ステレオピンプラグ変換コード付属)

AUX OUT

ライン出力ジャック

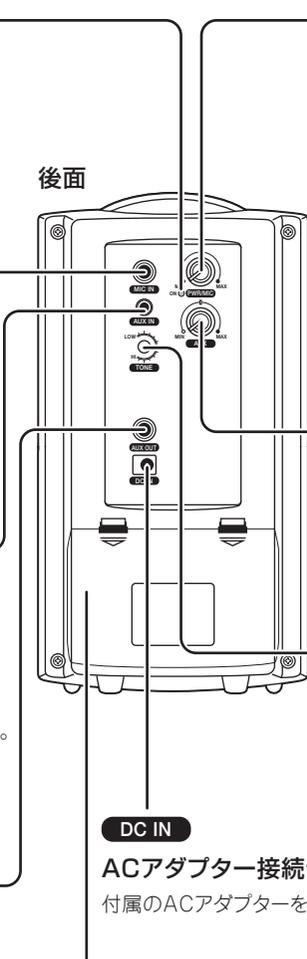
(-2dBV 不平衡)
2極大型単頭ジャック

本機に増設アンプを接続するときはこのライン出力(AUX OUT)を増設アンプのライン入力ジャックに接続してください。

録音機器の録音入力に接続することで放送内容を録音することができます。

ライン出力ジャックからはマイク入力とライン入力がミキシングされ、本機の各種音量調節つまみ・音質調節つまみに連動した音声が出力されます。

後面



PWR/MIC

電源スイッチ兼 マイク音量調節つまみ

このつまみを右に回すとカチッと音がして電源が入り、電源表示灯が赤く点灯(ON)します。

電源を切るときはカチッと音がするまで左に回し(下向きの位置)、電源表示灯が消灯(OFF)したことを確認してください。

このつまみでマイク入力(MIC IN)の音量を調節してください。

AUX

ライン音量調節つまみ

このつまみでライン入力(AUX IN)に接続された機器の音量を調節してください。

TONE

音質調節つまみ

このつまみで音質を調整することができます。左(Low側)に回すと低音が強調され、右(HI側)に回すと高音が強調されます。

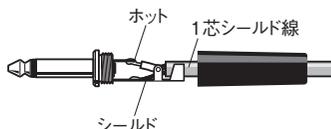
DC IN

ACアダプター接続ジャック

付属のACアダプターを接続します。

アクセサリ収納部

マイク入力/ライン出力接続用 2極大型単頭プラグ結線図



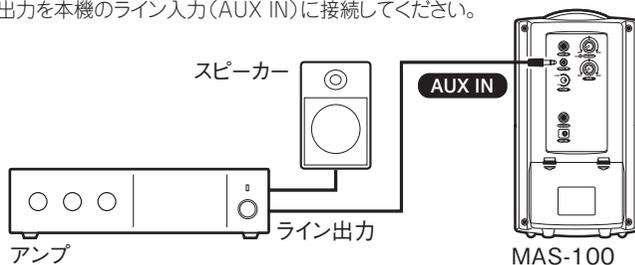
接続方法(例)

本機を使用される用途により、必要な機器を各ジャックに接続してください。

- ご注意…
- ・ 接続コードについては、本機に接続する機器の取扱説明書もよくお読みになり正しく接続してください。
 - ・ 本機及び接続コードは雑音の原因になる機器や場所には近づけないようにしてください。

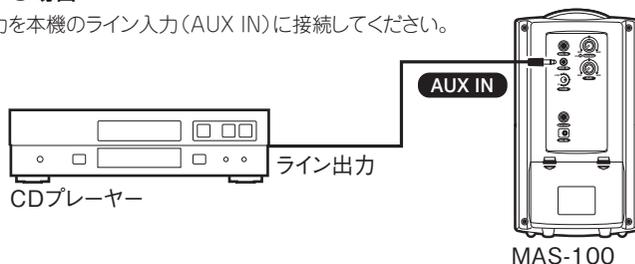
● モニタースピーカーとして使用する場合

- ・ モニターする機器のライン出力を本機のライン入力(AUX IN)に接続してください。



● CDプレーヤーを接続する場合

- ・ CDプレーヤーのライン出力を本機のライン入力(AUX IN)に接続してください。



● マイクロホンを使用する場合

- ・ マイクロホンのプラグを本機のマイク入力(MIC IN)に接続してください。



注意

接続コード類は通行などの障害となる場所に設置しないでください。引っかけたり、落下したり転倒したりなどしてけがの原因となることがあります。

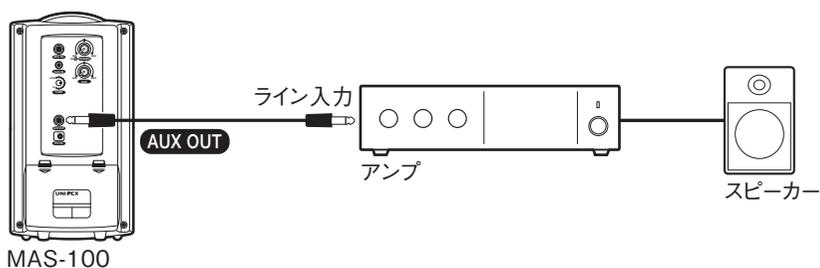
接続方法(例)

本機を使用される用途により、必要な機器を各ジャックに接続してください。

- ご注意…
- ・ 接続コードについては、本機に接続する機器の取扱説明書もよくお読みになり正しく接続してください。
 - ・ 本機及び接続コードは雑音の原因になる機器や場所には近づけないようにしてください。

●アンプを増設する場合

- ・ 本機のライン出力(AUX OUT)を増設するアンプのライン入力に接続してください。



注意

接続コード類は通行などの障害となる場所に設置しないでください。引っかけたり、落下したり転倒したりなどしてけがの原因となることがあります。

使用方法

例1. アンプのライン出力に接続して使用する場合

本機の接続が終了しましたら、次の説明に従って使用してください。

1. 各音量調節つまみをカチッと音がするまで左に回し(下向きの位置)電源表示灯が消灯(OFF)していることを確認してください。
2. 本機に付属のACアダプターを接続し、本機及びアンプの電源プラグをAC100Vコンセントに接続してください。
3. 接続しているアンプの電源を入れてください。
4. 本機の電源スイッチ兼マイク音量調節つまみ(PWR/MIC)を右に回して、電源を入れてください。
5. アンプ側の放送を開始し、本機のライン音量調節つまみ(AUX)を適切な位置に調節してください。
6. 音質調節つまみで音質を調節してください。

例2. 単体でマイク放送をする場合

次の説明に従って使用してください。

1. 各音量調節つまみをカチッと音がするまで左に回し(下向きの位置)電源表示灯が消灯(OFF)していることを確認してください。
2. 本機に付属のACアダプターを接続し、本機及びアンプの電源プラグをAC100Vコンセントに接続してください。
3. マイクロホンのプラグを本機のマイク入力(MIC IN)に接続してください。
4. 本機の電源スイッチ兼マイク音量調節つまみ(PWR/MIC)を右に回して、電源を入れてください。
5. マイク放送を開始し、本機の電源スイッチ兼マイク音量調節つまみ(PWR/MIC)を適切な位置に調節してください。
6. 音質調節つまみで音質を調節してください。



注意

電源を入れる前には各音量調節つまみをカチッと音がするまで左に回し(下向きの位置)電源表示灯が消灯(OFF)していることを確認してください。

突然大きな音が出て聴力障害などの原因になることがあります。

故障と思う前に

ほんのちょっとしたことで正常に動作せず、故障かな?と思うことがあります。次の要領で点検してみてください。

症 状	点 検 項 目	対 策
全く動作しない	電源プラグがコンセントに接続されていますか。	電源プラグをコンセントに差し込んでください。
	ACアダプターのプラグが抜けていませんか?	ACアダプターのプラグを差し込んでください。
	電源は入っていますか。	電源を入れてください。
	電源表示灯が点灯していますか。	電源を入れてください。
	各音量調節つまみが絞られていませんか。	各音量を適切な音量に調節してください。
マイク入力(MIC IN) の音声が聞こえない	マイクのトークスイッチが入っていますか。	マイクのトークスイッチを入れてください。
	マイクプラグは確実に差し込まれていますか。	確認してください。
	マイクは正常ですか。	他のマイクと交換してください。
	電源スイッチ兼MIC音量調節つまみ(PWR/MIC)の音量が絞られていませんか。	適切な音量に調節してください。
	平衡型のマイクを使っていませんか。	不平衡型のマイクをご使用ください。
ライン入力(AUX IN) の音が出ない スピーカーより音が出ない	ラインプラグは確実に接続されていますか。	確認してください。特に増設されている場合、全てのライン接続を確認してください。
	ライン音量調節つまみ(AUX)の音量が絞られていませんか。	適切な音量に調節してください。
音がわる	過大入力になっていませんか。	音量調節つまみを下げてください。
雑音ができる	機器本体やライン接続コード、マイクコードなどがノイズを発生する機器の近くにありませんか。	雑音を発生する機器から遠ざけてください。

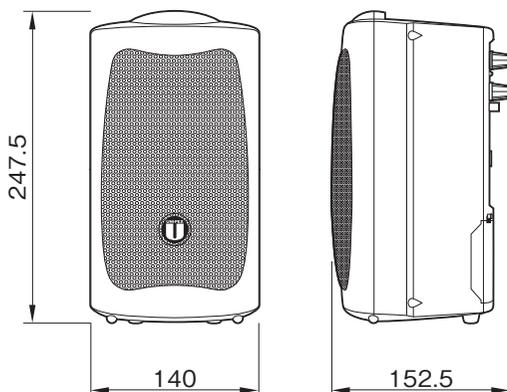
警告

- 上記の方法で点検されても正常に動作しないとき、または使用中に急に異常が発生したときは、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。煙などの異常が無いことを確認し、販売店などへご連絡ください。
- 本機は絶対に分解しないでください。感電の恐れがあります。修理は、必ず販売店などにご依頼ください。

定格

電源電圧 / 周波数	AC100V 50/60Hz (ACアダプター)
消費電力	15W (電気用品安全法による測定方法に基づく)
ACアダプター	ATS065T-A150
定格出力	10W class D
再生周波数帯域	150Hz~20kHz (ライン入力 1W出力時)
入力感度及びインピーダンス	マイク: -44dBV 不平衡 音量調節器付 2極大型単頭ジャック ライン: -12dBV 不平衡 音量調節器付 Φ 3.5mmステレオミニジャック
内蔵スピーカー	10cmフルレンジスピーカー
ライン出力	-2dBV 不平衡 2極大型単頭ジャック
動作表示	電源: LED(赤)
使用温度範囲	-10°C~+50°C
外装	前面ネット(パンチングメタル): ブラック艶消し ケース : ブラック艶消し
寸法	幅140mm 高さ247.5mm 奥行152.5mm
質量	約1.3kg (ACアダプター除く)
付属品	取扱説明書(保証書付) 1、 ACアダプター 1、 Φ 3.5mmステレオミニプラグ \leftrightarrow ステレオピンプラグ変換コード 1

外観寸法図 (単位: mm)



サポートのご案内

■ 修理・お取扱い・お手入れについてのご相談・ご依頼は、お買い上げの販売店にお申し付けください。

販売店に修理を依頼する場合は、下記の項目をお確かめください。

①品名 ②品番 ③お買い上げ日 ④故障の状況（できるだけ具体的にお願いします）

■ 販売店がご不明な場合は、最寄りの弊社営業所にお問い合わせください。

営業所情報はホームページ
もしくはQRコードに
アクセスしてください。
<http://www.unipex.co.jp>



■ その他ご不明な点は、お客様ご相談センターへご相談ください。

UNI-PEX お客様ご相談センター

0120-56-5245

通話料無料

受付時間／9:00～17:00（土・日・祝日除く）

PHS・携帯電話からのご利用は、

072-855-3334（通話料がかかります）

【お客様の個人情報のお取り扱いについて】

お客様ご相談センターにおけるお客様の個人情報は、ご相談対応、修理およびその確認に使用いたします。個人情報は適切に管理し、正当な理由がある場合を除き、第三者に提供または開示いたしません。

アンプ内蔵モニタースピーカー MAS-100

保証書

製造番号	
保証期間	お買い上げ日 年 月 日(月) 電子回路部1ヶ年、ケース(外装部) 6ヶ月
お客様	お名前 ご住所 〒 電話()
販売店	店名・住所 電話()

保証規定

この保証書は日本国内においてのみ有効です。この保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

(This warranty is valid only in Japan)

無料修理保証の範囲

- ①保証期間内において、取扱説明書などに従った正常な使用状態において故障した場合に無料で修理いたします。
- ②修理の際は必ず保証書の提示があること。
- ③当保証書の所定項目に必要な事項が記入され、故意に字句を訂正していないこと。

無料修理保証の免責範囲

(次のような場合は保証期間内でも有料修理となります。)

- ①使用上の誤り及びお取扱いの乱用などによる故障、磨耗。
- ②不当な修理改造による故障、損傷。
- ③正常なご使用でも、消耗部品の自然消耗、磨耗、劣化によるもの。
- ④お買上げ後の落下、傷など、お取扱い上に起因するもの。
- ⑤火災、水害、落雷、地震、その他の天災によるもの。また塩害、有毒ガス、異常電圧などが原因の損傷。
- ⑥故障の原因が本製品以外の機器の影響によるもの。
- ⑦常識的に正常な動作状態であるにもかかわらず、修理または部品交換などの要求をされる場合。

本書は本書記載内容で無料修理を行なうことを保証するものです。お買い上げの日から上記期間内に故障が発生した場合は本書を提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

製造元 **日本電音株式会社**

発売元 **ユニペックス株式会社**

〒573-1132 大阪府枚方市招提田近3-6 TEL.(072)855-3334(代)